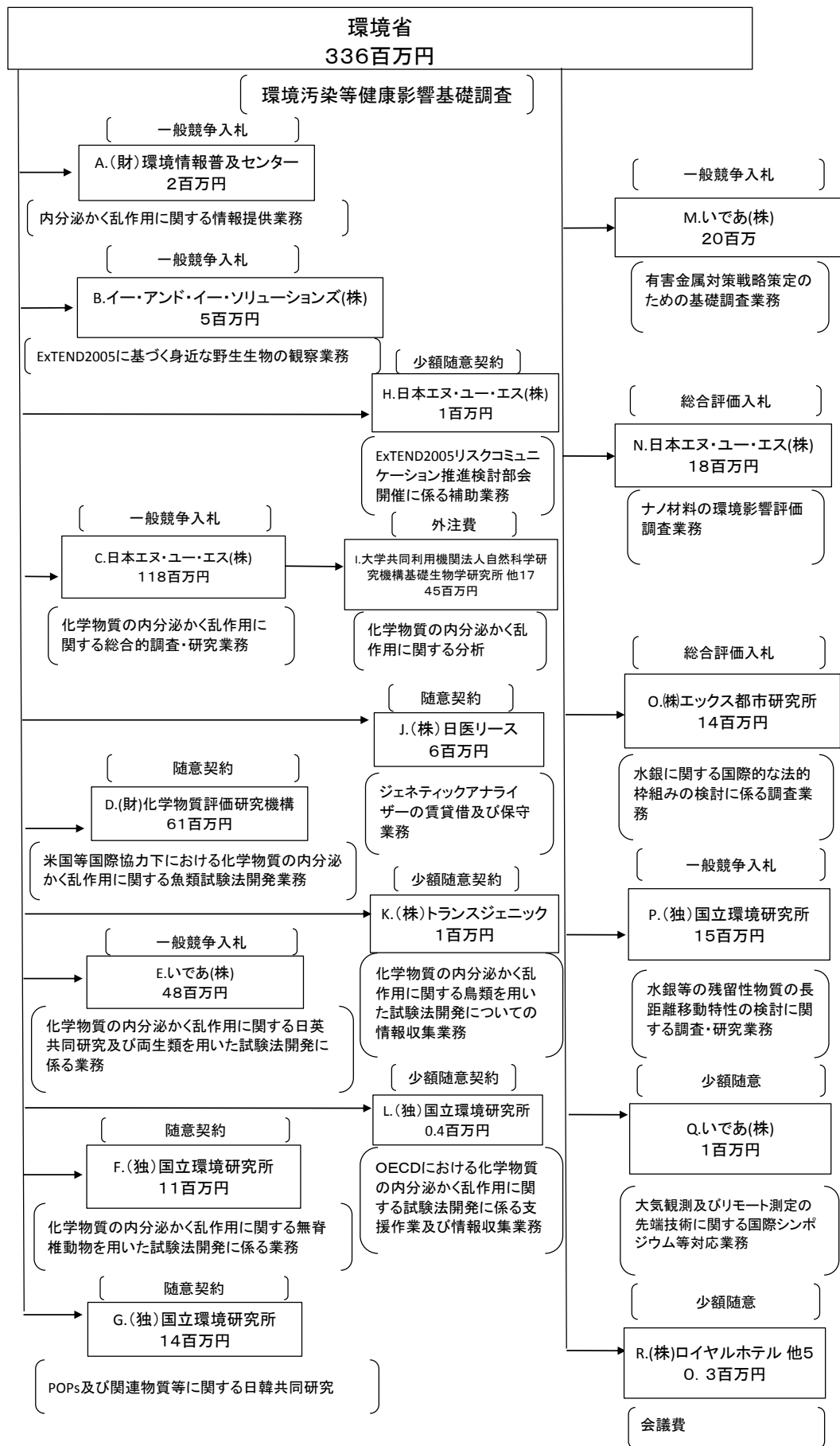


行政事業レビューシート (環境省)							
予算事業名		環境汚染等健康影響基礎調査費		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁		環境保健部		担当課室	環境安全課	早水 輝好	
会計区分		一般会計		上位政策	環境政策の基盤整備		
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	環境基本計画		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		・科学的に未解明な点が多い化学物質の内分泌系かく乱作用について調査研究を実施し、各化学物質が人の健康や生態系に及ぼす影響について明らかにし、リスク評価を実施するとともに一般に適切な情報提供を行う。 ・水銀、カドミウム、鉛等の有害金属類や、近年技術開発が進むナノ材料の環境影響を未然に防ぐための取組や情報収集を進める。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)		1. 化学物質の内分泌かく乱作用 ・専門家による助言組織を設置した上で、野生生物の生物学的知見研究、基盤的研究、試験法開発、リスクコミュニケーション等各種の取組を実施する。 2. 有害金属類 ・水銀をはじめとする有害金属による環境汚染対策立案の基礎資料を作成するため、環境監視や濃度予測モデルの開発等を行い、国際的な水銀管理に関する議論に貢献する。 3. ナノ材料 ・ナノ材料の知見を整備するとともに、その特性を踏まえたうえで、人や動植物への影響が懸念されているナノ材料の管理技術の有効性の確認及びリスク評価手法の確立に関する検討を行う。					
実施状況		1. 化学物質の内分泌かく乱作用 ・「化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会」及びその下に4つの検討部会を設置し、野生生物の生物学的知見研究及び基盤的研究の推進、試験法開発、ホームページの作成等各種の取組を実施している。また、内分泌かく乱作用に関する検討を更に推進するため、今後5年間の対応の方向性「EXTEND2010」をとりまとめた。 2. 有害金属類 ・国内の発生源の影響を直接受けない地域において水銀等の高精度の環境監視を実施するとともに、アジア太平洋地域における拡散・移動予測モデルの検討等を実施した。また、国際的な水銀管理のあり方や国内の水銀対策の課題等について検討を行い、これをもとに国際的議論に参加した。 3. ナノ材料 ・「工業用ナノ材料に関する環境影響防止ガイドライン(平成21年3月公表)」(※)において指摘された「今後の課題」に基づいて、「ナノ材料の測定方法」、「ナノ材料の管理技術の有効性」について、実験を交えた検討を実施した。 ※・・・ナノ材料を取り扱う事業者が適切な管理措置を講ずる際に沿うべき基本的考え方について取りまとめたもの。					
予算の状況 (単位:百万円)			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
		予算額(補正後)	525	538	339	347	328
		執行額	495	519	336		
		執行率	94%	96%	99%		
		総事業費(執行ベース)	495	519	336		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	各種事業を執行するにあたっては、事業実施計画の立案段階から請負者と綿密に打ち合わせを行うとともに、実行段階においても、電子メールや電話を用いた報告や相談を受けるなどして、担当者が十分進捗状況を把握した上で執行している。					
	見直しの余地	1. 化学物質の内分泌かく乱作用 化学物質の内分泌かく乱作用については、リスク評価手法を確立した上でその評価を進め、環境行政によるリスク管理の必要性を判断するため非常に重要である。 これまで、SPEED'98及びExTEND2005に基づき各種の取組を実施し、科学的な知見が蓄積され、評価のための試験法の開発を進めることができたが、個々の物質のリスク評価は十分な進展が図られなかった。このため、対応方針の見直しを行い、新たに取りまとめた「EXTEND2010」では、引き続き基盤的研究や試験法の検証を進めつつ、評価手法の確立と評価の実施を加速化することとした。このため、今後は、当該事業の重点を、試験法開発・検証から、個別の化学物質の評価にシフトし、内分泌かく乱作用等が疑われる化学物質を効率的に選定して、これまでに開発した試験法を用いて試験を行い、既存知見も効果的に活用しつつ影響評価やリスク評価を加速化して進めて行く必要がある。 2. 有害金属類 国連環境計画においては、水銀等の有害金属に対する取組の強化を進めている。特に水銀については、その規制に関する条約の制定が国際的に合意されたが、規制内容の検討にあたっては水銀の環境監視や動態の把握を通じた科学的知見の蓄積を継続していくことが必要である。本事業は、水銀等の有害金属の定点常時観測及び環境中動態に関する濃度予測モデルの検討を行っている国内唯一の事業であり、今後ともこれらを継続して実施し、その結果を国際的な議論に提供することで、地球規模での汚染対策に貢献する必要がある。また、今後の水銀規制に関する条約の交渉の進展に伴い、アジア太平洋地域等の途上国においても、その技術的能力を考慮に入れたうえで、環境中の水銀の濃度を把握するための取組を進めることが重要である。 3. ナノ材料 ナノ材料が人や動植物へ与える影響についての懸念がある一方で、その測定方法や管理技術の有効性については不明な部分が多い。このため、これらの課題の解決に取り組みつつ、特に影響が懸念されているカーボンナノチューブについては、予防的な観点からの対応を進めていく必要がある。 なお、ナノ材料に関する取組は国内の関係機関と分担・連携して効率的に進めており、環境省では、主に環境中への排出の防止や動植物への影響の防止の観点から取り組んでいる。 これらの事業を進めるに当たっては、適切かつ効率的に業務を実施するため、有識者の知見を聴取し活用するとともに、業者選定に当たっては、一般競争入札を実施するなど、効果的・効率的な事業の執行に努めている。					
化予算・監視・所効見率	一部改善 (複数年に渡り継続して実施していることから、事業内容を精査すること等により、予算額を節減すべき。)						
補記							

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。使途と費目の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.(財)環境情報普及センター			E.いであ(株)		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	内分泌かく乱作用に関する情報提供	2	雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する 日英共同研究及び両生類を用いた試験 法開発	48
計		2	計		48
B.イー・アンド・イー・ソリューションズ(株)			F.(独)国立環境研究所		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	ExTEND2005に基づく身近な野生生物 の観察	5	雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する 無脊椎動物を用いた試験法開発	11
計		5	計		11
C.日本エヌ・ユー・エス(株)			G.(独)国立環境研究所		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する 総合的調査・研究	118	雑役務費	POPs及び関連物質等に関する日韓共 同研究	14
計		118	計		14
D.(財)化学物質評価研究機構			H.日本エヌ・ユー・エス(株)		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	米国等国際協力下における化学物質の 内分泌かく乱作用に関する魚類試験法 開発	61	雑役務費	ExTEND2005リスクコミュニケーション推 進検討部会開催に係る補助	1
計		61	計		1

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックごと に最大の金額が 支出されている者 について記載す る。使途と費目の 双方で実情が分 かるように記載)	I.大学共同利用機関法人自然科学研究機構基礎生物学研究所			M.いであ(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	外注費	医薬品の水生生物への影響価法の開発	5	雑役務費	有害金属対策戦略策定のための基礎調査	20
	計		5	計		20
	J.(株)日医リース			N.日本エヌ・ユー・エス(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	ジェネティックアナライザーの賃貸借及び保守	6	雑役務費	ナノ材料の環境影響評価調査	18
	計		6	計		18
	K.(株)トランスジェニック			O.㈱エックス都市研究所		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する鳥類を用いた試験法開発についての情報収集	1	雑役務費	水銀に関する国際的な法的枠組みの検討に係る調査	14
	計		1	計		14
	L.(独)国立環境研究所			P.(独)国立環境研究所		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	OECDにおける化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験法開発に係る支援作業及び情報収集	0.4	雑役務費	水銀等の残留性物質の長距離移動特性の検討に関する調査・研究	15
	計		0.4	計		15

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックごと に最大の金額が 支出されている者 について記載す る。使途と費目の 双方で実情が分 かるように記載)	Q.いであ(株)			U.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	大気観測及びリモート測定の先端技術 に関する国際シンポジウム等対応	1			
	計		1	計		0
	R.(株)ロイヤルホテル			V.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	会議費	0.2			
	計		0.2	計		0
	S.			W.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	T.			X.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0